

令和6事業年度

決 算 報 告 書

第21期事業年度

自：令和6年4月 1日

至：令和7年3月31日

国立大学法人長崎大学

令和6年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,365	18,552	1,187	(注1)
施設整備費補助金	861	861	-0	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,498	2,286	788	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	-	
自己収入	37,582	42,040	4,458	
授業料、入学料及び検定料収入	4,958	4,825	-133	(注3)
附属病院収入	32,108	35,315	3,207	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	516	1,900	1,384	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	7,195	9,517	2,322	(注6)
引当金取崩	924	960	36	
長期借入金収入	48	47	-1	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,161	1,086	-75	(注7)
引当特定資産取崩	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成	-	-	-	
大学運営基金取崩	-	-	-	
計	66,668	75,383	8,715	
支出				
業務費	55,008	56,500	1,492	
教育研究経費	22,103	20,448	-1,655	(注8)
診療経費	32,905	36,052	3,147	(注9)
施設整備費	943	942	-1	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,158	1,930	772	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	7,195	7,140	-55	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,364	2,365	1	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	-	-	-	
計	66,668	68,877	2,209	
収入－支出	-	6,506	6,506	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいなかった基幹経費の追加交付があったこと及び前年度からの繰越額が見込額より多額となったことにより、予算金額に比して決算金額が1,187百万円多額となっております。

(注2)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった医療研究開発推進事業費補助金等の交付があったこと等により、予算金額に比して決算金額が788百万円多額となっております。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金355百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

(注3)授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階の見込に比して授業料等免除(新制度・独自制度)における申請者が多数であったことによる入学料収入の減等により、予算金額に比して決算金額が133百万円少額となっております。

(注4)附属病院収入については、入院延患者数の増加に加え、診療単価の上昇、診療単価の高い手術件数の増加等により、予算金額に比して決算金額が3,207百万円多額となっております。

(注5)雑収入については、過年度の決算剰余金のうち目的積立金にならなかったものを使用したこと等により、予算金額に比して決算金額が1,384百万円多額となっております。

(注6)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究の受け入れ増加等により、予算金額に比して決算金額が2,322百万円多額となっております。

(注7)目的積立金取崩については、病院再整備に係る長期整備計画に基づく施設・設備整備及び移転事業の事業計画変更等により、予算金額に比して決算金額が75百万円少額となっております。

(注8)教育研究経費については、業務達成基準を適用した学内プロジェクトやミッション実現加速化経費事業による翌期繰越及び効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が1,655百万円少額となっております。

(注9)診療経費については、高額注射薬の使用件数の増加や手術件数の増加に伴う材料費及び医薬品費の増加等により、予算金額に比して決算金額が3,147百万円多額となっております。

(注10)補助金等については、(注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が772百万円多額となっております。

(注11)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究等の翌期繰越の増加により、予算金額に比して決算金額が55百万円少額となっております。